

本市の緑化施策を取り巻く状況等

本市の社会状況

- 人口減少局面への転換
- 少子高齢化の進行
- グローバル化の更なる進展・交流人口の拡大
- 社会インフラ等の老朽化
- 財政制約の深刻化
- 地球温暖化に伴う気候変動(自然災害の頻発化)

本市のみどりの強み

- 多様な自然環境を有し、市域の約8割がみどりに覆われている
- 市民1人当たり都市公園面積、管理道路1kmあたり街路樹本数が政令市間で高水準
- 杜の都の環境をつくる条例に基づく緑化面積が着実に増加
- 都市緑地法等による担保性のある緑地等が増加
- みどりに関する活動の協働の取組が盛ん

本市のみどりの課題

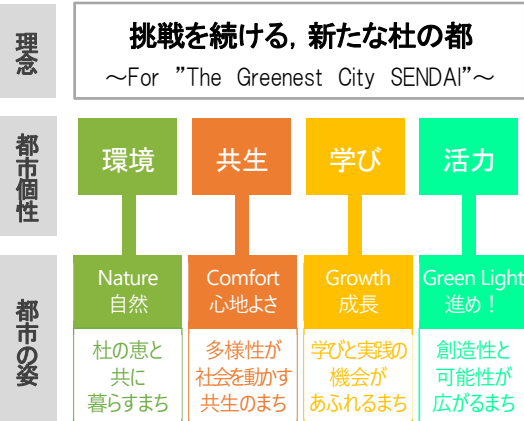
- 都市公園(配置の偏在、施設の老朽化の進行、小規模街区公園が多数存在)
- 街路樹(成長に伴う管理費の増大、根上がり等の道路の安全性の低下、基準不適合箇所が多数存在)
- 都市緑化(建築物緑化の実績の伸び悩み)
- 緑地保全(担保性のない緑地で開発が進行)
- 人・予算(担い手不足、百年の杜づくり推進基金の減少)

みどりの多機能性

- 生態系サービス(炭素固定、水源涵養、生物多様性の維持、食糧供給など)
- 防災・減災(津波の減衰、洪水緩和、延焼防止、災害時の避難場所・活動拠点など)
- 生活環境の向上(リラックス効果、コミュニティ形成、子育て環境の充実、レクリエーションなど)
- 経済・活力(観光資源、都市の魅力向上、不動産価値の維持・向上など)

仙台市総合計画

仙台市基本計画(策定中)



みどりを取り巻く国内外の動向

グリーンインフラ推進戦略(国土交通省)  
(グリーンインフラの活用を推進すべき場面)

- (1)気候変動への対応
- (2)投資や人材を呼び込む都市空間の形成
- (3)自然環境と調和したオフィス空間等の形成
- (4)持続可能な国土利用・管理
- (5)人口減少等に伴う低未利用地の利活用と地方創生
- (6)都市空間の快適な利活用
- (7)生態系ネットワークの形成
- (8)豊かな生活空間の形成

持続可能な開発目標(SDGs)



次期計画の方向性

「グリーンインフラの推進による『新たな杜の都』」

東日本大震災の経験や風水害の頻発化・激甚化、間もなく訪れるとされている人口減少や加速する少子高齢化等、本市の社会経済情勢の変化を踏まえ、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、みどりが有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある新たな杜の都の実現に向けたグリーンインフラに関する取組を進める。

また、持続可能なグリーンインフラの実現には、みどりの保全や適正な維持管理、更にはみどりの創出が不可欠であり、それらの取組をより一層推進する。

基本理念

案①未来へつづる「百年の杜」  
案②「百年の杜」が育む人とまち

現理念: みんなで育む「百年の杜」  
【キーワード】  
The Greenest City SENDAI, SDGs, グリーンインフラの推進, 百年の杜づくりの継承

- ・既存の概念から新たなみどりの次元に進むという内容が盛り込まれると良い
- ・みどりの機能に着目した内容にしようとした場合、案②が良いかもしれない
- ・チャレンジする姿勢が大事

次期仙台市みどりの基本計画(次期計画の方向性~基本方針)

みどりの将来像

- 自然が息づくみどり
- 災害をいなくすみどり

- 山々から太平洋につながる自然に、多種多様な生物が息づいている
- おいしい水や空気などが循環し、自然とまちが共生している
- みどりが自然災害を防ぎ、減らし、私たちの命や財産を守っている
- みどりによる持続可能な都市が構築され、健全に成長している

- 人、企業を惹きつけるみどり
- 世界に注目されるみどり

- 風格と品格のあるみどりが仙台の個性として、人や企業を惹きつけている
- みどりがつくる働きやすい環境で多くの人が働いている
- 先進のみどりのまちとして、世界の国や地域の人々が集い、交流している
- 「杜の都」の魅力が発揮され、世界が仙台を注目している

- 市民文化が彩るみどり
- 多様性を支えるみどり

- 仙台のみどりの文化を、時代に即しながら綿々と引き継ぎ、新しい文化も生まれている
- みどりの空間を舞台に、多種多様な市民活動が繰り広げられている
- あらゆる人々が美しいみどりの環境の中に、集い、ふれあい、楽しんでいる
- 世界を惹きつけるみどりのまちに、さまざまな人が憧れ暮らしている

- 心身の安寧をつくるみどり
- 創造を生む学びのみどり

- 身近なみどりに接することで、心が健康になり子ども達も健やかに育っている
- 豊かなみどりのなかで、自然と人へのやさしさが生まれている
- 子どもたちがみどりに触れ合うことで、自然や社会を学び、想像力や問題解決能力を養っている
- みどりと共に生きる暮らしのあり方を学んでいる

- 生活環境を維持するみどり
- 多様な主体が関わるみどり

- みどりが計画的かつ適正に維持管理されている
- 法令等に基づき、みどりが保全されている
- 適材適所にみどりが創出されている
- みどりを共有の財産として、市民や市民活動団体、民間事業者等の多様な主体と連携し、多様な手法により、みどりの保全、創出、利活用がされている

基本方針

〈基本方針全体に対して〉  
・みどりの何をセールスポイント、特長にするかが大事である

みどりと賢くつきあうまち

⇒「賢く」という言葉が自然に失礼な気がする

みどりで選ばれるまち

⇒新しい観点である

みどりを誇りとするまち

みどりと暮らすまち

⇒「みどりと暮らすまち」「みどりを大切にすするまち」は受け身な印象を受ける。みどりを積極的に暮らしや職場に取り込むという観点を打ち出して良いかもしれない。

みどりを大切にすするまち

